

問 高校通学定期代の助成を

答 実施の考えはない

岡前 治生 議員

問 神姫バスの高校通学定期代は大きな負担となっている。淡路市では月額1万円の助成がある。同様の制度をつくり保護者負担の軽減を。

市長

気持ちには理解できるが、実施の考えはない。

問 波賀町の子育て支援金、高齢者の無料入浴制度など旧町ごとのすぐれた住民サービスは暫定施行という形で実施されている。よい施策は全市に広げることが検討するとともに、旧町ごとの施策は継続すべきでないか。

市長

無期限に延長は問題であり、早い時期に検討する。

問 介護保険の改悪から

住民を守れ

答 国の改正に従います

山下 由美 議員

問 たくさんの問題を抱えたまま介護保険の見直しが行われました。今回の改正は、「保険給付の抑制」に最大の眼目がおかれています。10月実施の介護施設の居住費・食費の自己負担化。高額な負担に利用者は耐えられるのか。

市長

社協でシルターに委託し実施することを検討しているようである。

問 広報しそう6月号に「福祉医療制度が変わります」との記事が掲載されていたが、改正条例案は審議中であった。議会軽視ではないか。今後、このように対処する。

市長

今後、このように対処する。

問 市内業者のための発注を

答 できる発注はすべてする

山根 昇 議員

問 市の物品や用品の調達や事業発注は、市内業者の活性化に役立つため、当面市民局ごとの対応や分割発注など考え、入札における公平さをはかるべきである。不正の罰則を強化すべきでないか。

市長

概ね3千万円以下の事業は市民局ごとに発注し、市内業者でできるものは発注したい。検討したい。

問 旧山崎町では、保健センター、西中学運動場、庁舎内駐車場用地など1万9千㎡の土地の賃借料として1千2百万円が支払われ、市に引き継がれている。昭和の合併時から50年間にわたり旧旧の町や村の関係地区住民の財産として

福祉部長

適切に要望し、対応していきたい。

福祉部長

介護予防に重点を置き、適切な調査をして、本人の生活力を



市長

その土地は、昨年2月に設立された中間法人の名義に変更登記されている。いろいろの経過があることは承知しているが、市としてはどうすることもできない。中間法人で考えていただくことである。

市長

議員の賛同があり進める。